東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
責任者
矢内　光

十一月号

後期学生大会まもなく

十二月一日（水）に平成十一年度後期学生大会が体育館で行われる。今回の議案書は以下の通りである。

一、二、三、
自治会規約の改正について
監査活動をより円滑に運営するため自治会規約を以下の通り改正したいと思います。
（現行規約）
第十九条
自治委員会は各学級より選出された自治委員によって構成され、委員の委員会活動への参加を以て、各学級の構成員の部活動、同好会活動を含む自治委員会活動全般への参加の基盤とする。また自治委員会は常任議長団を置く。
（追加）常任議長団の任期は一カ年とする。
第七十三条
予算委員会は毎年四月末日迄に執行委員長が招集する。
（追加）尚、臨時予算委員会は執行委員長が必要と認めたときに招集する。
第七十四条
予算委員会は以下の委員により構成する。
（追加）尚、予算委員会は予算成立後、自治委員会の承認を得て解散する。
一、執行委員　二名
（うち一名は執行委員会会計）
二、自治委員　二名
三、監査委員　二名
四、新聞会代表　二名
五、学友会各部門代表　二名
第八十三条
学友会会計は会計簿を作成し監査委員会、執行委員会、予算委員会の要請により提出しなければならない。
（追加）尚、会計簿が提出されなかった場合は、来年度の予算を受け取ることができない。
四、悪天候に伴う授業（及び試験）の措置の改正の提案について
（現行措置）
交通機関の不通における措置の適用は原則としてJR、京王線を指します。
（提案）
交通機関の不通における措置の適用は原則としてJR、京王線及び小田急（多摩）線を指します。
五、自治会生活充実費について
（自治会規約）
第十九条
自治委員会は年間三十四万円のクラス活動費を所有し、自治委員会二名を通じ以下のように配分を行う。年間、各クラスの上限を二万円までとして使用することができる。又、欠損の出た場合は次年度予算より補填する。尚、自治会生活充実費は自治委員会の承認を以て使用目的を決定して、学生全員が必ず利用できる物にのみ使用される。
（追加）自治委員会生活充実費が百万円を超過した場合、超過分は次年度の自治会分配金に当てる。
六、平成十二年度監査委員長の承認
自治委員会において、左記の者を平成十二年度監査委員長として推薦いたします。
薬学部　G　福田　美保
七、予算の積み立てについて
一年分の予算で購入不可能な物に対して、予算の積み立てを許可したいと思います。
八、学部学生駐車場について
執行委員会では許可証交付に関して、平成十一年度十二月中に申請に関する事項についての公示を提示する予定です。決定は来年四月頃になります。尚、交付申請者は学生部の主催する交通安全講習会に必ず出席して下さい。出席した者のみに交付申請の権利が与えられます。その際代理人の出席は認めません。尚、学生証を必ず持参してください。詳しくは教育棟中央ホールの掲示を見て下さい。
九、新歓祭実行委員会について
平成十二年度新歓祭実行委員会は、新入生が上級生の主催する様々な行事を通して、これからの学生生活を新たな気持ちで送れることを目的として活動していきます。

天浴の季節

XIU XIU

果てしなく続く平原の丘陵と、そこに残された一つのテント。この物語の舞台は四川省西北部からチベット自治区東部にかけてのカムと呼ばれる地方である。ここではチベット族が遊牧を中心とした生活を営んでいる。一九六六から七六年当時の中国では文化大革命が展開されていた。社会は混乱を来し、人々は絶対的な毛沢東思想により支配された。それが最も端的に表れたのが下放政策である。「都市の学生は農村で労働の尊さを学べ」という号令の下、多くの学生が半ば強制的に地方へ送られた。

家族と共に成都で暮らしていた少女シュウシュウもやがて、辺境の地に送られる。シュウシュウの任務はラオジンというチベット人の男から放牧を学ぶ事だった。都会育ちで純朴な彼女は、一人きりのテント生活に戸惑ってしまう。そんな彼女だが、やがてラオジンの優しさに心を開き無事に任期終了を迎える。ところが革命末期の混乱により彼女は帰る術を失い、さらなる過酷な運命に直面する。次第に自分を見失っていく彼女を、ラオジンは沈黙を守りながらも影で支え続けるのだった。そして、彼の愛により少女は本来の自分を取り戻すのだが。

この映画は実話を元に権力者によって運命を狂わされた一人の少女を描いている。しかし、監督がテーマとしているのはどんな状況下でも失われる事のない人間の誇りと尊厳である。ラオジンという人物の体現する愛は、その一つの表現形と言っていいだろう。彼の愛は不動で透明さを失う事がない。その美しさは少女の辿った運命の惨さと見事に対比されている。

尚、この映画は現在シネスイッチ銀座にて、十二月十七日まで単館上映されている。

美術部薬美展

今年も恒例の美術部薬美展が開催される。詳細は左記の通りである。

日時　十二月十八日（土）
　　十九日（日）
　　午前十時から午後五時
場所　ダイエー北野店七階
　　八王子市民センター
　　展示室
交通　京王線北野駅下車
　　北口徒歩一分

今回は春展や学内展とは異なり、学外で行われる。またこれまでの作品に加え、新作も数多く展示される予定である。作品数、規模ともに今年一年を締めくくるにふさわしい展覧会になりそうだ。前回見逃してしまった人もそうでない人も、東薬美術部員の個性豊かな作品を見ることができる絶好の機会である。これを機に是非足を運んでみてはいかがだろうか。

就職ガイダンス

十一月に引き続き第二回就職ガイダンスが実施される。詳細は左記の通りである。

日時　十二月八日（水）
　　十二時五十分から
　　十三時四十分
場所　四三一講義室
内容
一、資料請求・会社訪問の仕方
二、エントリーシートの書き方
三、面接の受け方
四、就職センターへの提出書類について

今回のガイダンスでは、就職活動に大いに役立つ情報や手続きなどの説明がある。就職希望の三年生はもとより、就職を将来の選択肢と考えている一、二年生も積極的に出席してもらいたい。

薬味

近頃風が冷たくなり、冬がやってきたと実感するようになった。この時期気を付けなければならないのは風邪である。風邪には様々な予防法があるが、世間一般には「みかんなどを食べて、ビタミンCを取るのが良い」と言われている。しかし、ビタミンCはどのような効果を発揮するのだろうか♣生体内でのビタミンCの作用としてコラーゲンやホルモンの生成などが挙げられる。ビタミンCは水酸化反応を触媒する補酵素で、直接、体に働くわけではない。ビタミンCの大量摂取が風邪を予防するという報告もあるのだが、現段階では疑問視されている♣「ビタミンCに風邪の予防効果がある」この事はノーベル賞受賞者のポーリング博士が広めた事である。これがきっかけとなって社会に大きなビタミンブームが起きた。私達の身の周りにビタミン強化飲料や食品が出回るようになったのはこのためである。結果として、日本人の一日のビタミンC平均摂取量が必要量を上回った。だが現在では、研究者などがビタミンCの過剰摂取を控えるように呼びかける事態になっているのだ♣そもそもビタミンCは普通の食事で十分に補う事ができる。余分に摂取すると体に良いどころか軽い下痢を起こしてしまう。他にも結石の原因となる可能性が指摘されている。大量摂取による過剰症は他のビタミンにも言える事で、むやみに取ればいいということではない♣結局みかんを食べる事に風邪を予防する効果はあまり得られないようだ。こたつに入ってみかんを食べるのが冬の風物詩ではあるが、そのまま寝て風邪をひいてしまってはしょうがないだろう。（まみむ）

新部門長挨拶

先日、各部門における平成十二年度の新部門長が発表された。そこで各新部門長にこれから一年間、各部門を運営していく上での方針と抱負を伺った。

体育部門長
平野　智章

平成十二年度の目標は、皆さんに体育部門をより身近に感じてもらう事です。私達はマラソン大会、体育祭などのイベントの運営や、体育会における施設の利用を可能にするなど、様々な仕事をしています。これらの活動は、皆さんの声によってより良くしていく事ができます。また「身近に感じてもらう」ということの第一歩として、私達はそれぞれの部活が行う試合の日程などを掲示します。このことを通じて、体育会に所属している人としていない人との交流が深まれば良いと思っています。

学術部門部門長
水本　昌伸

この度、学術部門部門長を引き継ぐことになった水本です。一年間活動していくにあたり、学術部門のより一層の発展を目標としていきたいと考えています。具体的な方針として、毎週部門長会議を開き、各部活からの貴重な意見を取り入れていきたいと思っています。

現在、部門は六名で活動しているため、できることに限りが出てくると思います。しかし、その時には各部活の皆様のご協力を頂きながら、一体となって精一杯頑張っていきたいと思っています。四月にはたくさんの新入生が入部して活気づいていくことを期待しています。

文化部門部門長
石川　猛士

一年間文化部門部門長となるにあたっての抱負は、全部員が最後まで楽しく活動できるようにしたいということです。皆さんには結果のみに捕らわれて欲しくありません。活動していく過程でいろいろ経験したことを大事にしてほしいと思っています。力不足かもしれませんが、自分も精一杯頑張りたいと思いますので、これから一年間よろしくお願いします。

同好会会長
高島　理

この度、同好会会長を務めさせて頂くことになりました二年の高島理です。これから同好会を運営していくにあたり、まず各同好会内での交流を増やすため、同好会スポーツ大会の回数を増やすことを一番の抱負としております。そして同好会全体を一つの部として、各部門との食事会やスポーツを通して、より一層大きな交流をしていければ最高だと思っております。またまた前会長には遠く及びませんができる限りのことをしていきたいと思っております。皆様の暖かい御協力をお願い致します。（以上敬称略）

各新部門長の新年度に向けての意気込みと、それぞれの部門をより良くしていこうという熱意が感じられる。新部門長の皆さんのこれからの活躍と、それぞれの部門がこれまで以上に発展することを期待したい。

警察再生への道

神奈川県警による犯罪の隠べい工作の発覚に始まった警官の不祥事は、各地の警察署でも続々と発覚している。一連の不祥事は、日本国民に大きなショックを与えた。このままでは我々の『市民の味方』という警察に対する認識が、根底から覆されてしまうのではないだろうか。

なぜこのような不祥事が起こってしまったのだろうか。一家型とも言える組織体制の弊害や警察の内部情報の閉鎖性などが一般的に原因であると言われている。しかし、私はそれ以上に『警官のおごり』によるところが大きいと考えている。日本の警察が優秀なのは、刑罰やその後の社会的制裁があるので市民が警察に捕まることを恐れるためだ、と聞いたことがある。そこから警官に対する必要以上の恐れが生まれ、これが警官の心に弱者に対する優越感を抱かせてしまう。この感情が『おごり』を生みだしているのだ。

この『おごり』を取り去る方法はあるのだろうか。まず警官自身が警察の仕事を他の公共サービスと同等に見るべきであり、自分の仕事を聖職化しないようにする必要がある。さらに、警察内部でもこのような『おごり』を無くすようなカウンセリングなどの具体的な対策をとるべきだ。

これらの対策をとり、我々が感じる警察への不信感を早く取り除いて欲しい。また我々も警官に無用な恐れを抱かないようにするべきである。先述したように、警官を必要以上に恐れる我々の気持ちこそがこの『おごり』を生みだす。つまり、我々の心境の変化で警官から『おごり』の心がなくなるのではないか。これは、警察の根本的改善につながるはずだ。

警察が変革の時期に来ているのは確かだ。組織体制や警官育成時の教育変革などすべきことは多くある。

それだけでなく我々と警官が一緒に警察のこれから進むべき方向を考えることだ。我々が警察をより身近に感じ、積極的に警察の変化を推進できれば、不祥事は無くなり信頼される警察と言われるのではないだろうか。（藤原）

一年実習開始

以前から注目されていた薬学部一年生の実習が十一月五日より始まった。

一年生から実習を課す理由として、講義に対する学生の関心を高めること、教職員、父母、学生からの要望が多いことや時間的ゆとりが多過ぎることなどが挙げられる。本来薬学部一年次におけるゆとりは、将来の目標を見つけ、また基礎学力を向上させるために設けられた。しかし、現実にはアルバイトなどに費すことが多く、二年次になって急に忙しくなる環境についていけない学生がいる。こうした現状に配慮した結果、一年次からの実習が導入された。

一年次の新実習は、「医療薬学基礎実習」と「機能形態学演習実習」の二つである。前者には医療人としての自覚を持たせるために心肺蘇生法の実習が含まれている。他にも、従来高学年で使用していた機器を使った実習がある。具体的な学習内容はポリグラフを用いた腸管や子宮運動と薬物の相互作用についての観察である。一方、後者は薬学分野で重要な基礎とされる機能形態学の実習である。機能形態学は将来、薬理学や病理生理学に応用される重要な分野であり、それに学生の関心を向けさせる必要がある。具体的な実習内容はラットの解剖やそれぞれの器官の観察などである。また一、二年次で受講する機能形態学に沿った内容も含まれており、実習後に講義を行うという新たな取り組みが導入されている。そして、これにより授業内容の理解力が上がるのではないかと期待されている。

今年度からは三、四年次でも実習内容が改正され、すでに実施されている。これらは薬剤師国家試験が医療薬学を重視するようになったのを受けた結果である。

三年次に新たに加わり、すでに行われている実習は「薬物治療学演習実習Ⅰ」「病態生理学実習」「医療薬学実務基礎実習」である。また四年次では「薬物治療学演習実習Ⅱ」が挙げられる。この中で特に注目されているのが「医療薬学実務基礎実習」だ。これは選択必修科目の「病院実習」の予備実習に当たり、導入については以前から病院など、学生の受け入れ先からの要望があったという。

実習が一年生から開始されるからといって、二年生以降に実習の時間が少なくなることや内容が劣化することはない。実習内容を再検討することで医療薬学や生物学を考慮に入れたカリキュラムとなっている。また、実験動物や実験用具に早くから触れることにより、講義と連動した学習ができるなどの効果も期待されている。

動物慰霊祭

動物実験の多い本学の一年の締めくくりとして、今年も動物慰霊祭が催される。詳細は左記の通りである。

日時　十一月三十日　昼休み
場所　四三一講義室

本学では、多くの動物が実験に用いられている。私達の実習や研究は、これら実験動物の犠牲の上に成り立っている。そのことを再確認するためにも、動物実験を行った人はもちろん、行っていない人にも出席を勧めたい。科学の発展のために命を失った動物達の冥福を、一人でも多くの人に祈ってほしい。

行事予定

十二月
一日（水）　後期学生大会
三日（金）　新歓キャンプ説明会
八日（水）交通安全講習会
二十二日（水）　年内授業終了
二十四日（金）　予備日
二十五日（土）　冬期休暇開始
一月
十日（月）　冬期休暇終了
十一日（火）　授業再開

お詫び

今号は一年生のみで書き上げました。記事を読んでいてちょっと変だなと思った読者の方もいると思いますが、多めに見て下さい。新聞を発行するに当たり、先輩方や取材に協力して下さった方々に、この場を借りてお礼を言いたいと思います。今後とも東薬大新聞会をお願い致します。

松沢敏広
次期新聞会会長

編集後記

今月十日発行の東京薬科大学新聞第二一六号の記事、資格案内の一覧表においてバイオ技術士の試験日に誤りがありました。正しくは「二月下旬」となっています。訂正すると共に、この場を借りてお詫び申し上げます。

トラフレシアにも花言葉はあるのだろうか？（えせ）
㊙今日もいい火でした。あなたも萌えてみませんか（プ）
さこれから先思いやられる。あ、また白髪が。（深海）
♣今回私はみかん星人の啓示を受けました。（まみむ）
畑みんな運動しているかい。僕はチャリで平山の坂を毎日登り、腰が崩壊。（LEC）
@哀悼ステファン。泣くな、ジョン・ケイジ。（篤丸）